

POTT道場 in はつかいち 報告

POTT
スキル
特徴&
目的

効果が
すぐ

食事の
自立

誤嚥
予防

食事量
増加

QOL
向上

技術力
向上

介護
負担減



【日時】 2023年11月23日(日) 10:00~16:00

【会場】 日本赤十字広島看護大学実習室 1

主催：POTTプロジェクト広島ブロック

協力：廿日市市五師士会 廿日市市在宅医療・介護連携相談支援室

【参加者】 46名 看護師・保健師・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・柔道整復師など・・・

プログラム1 基礎編

10:00~ 講義：技術力&チーム力向上のために 講師：迫田 綾子先生

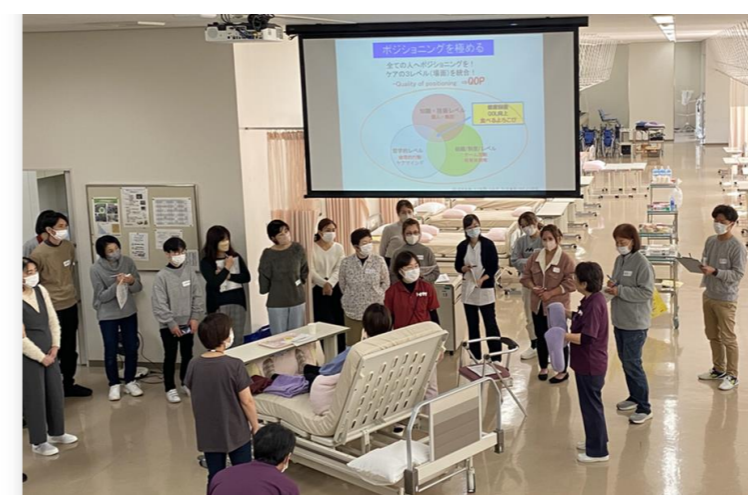
10:40~ 演習 POTT基本スキル（ベッド上ポジショニング+食事介助）

☆デモンストレーション後、9つのグループに分かれて演習を実施

1. 自己紹介
2. POTT30度 食事介助・食後のポジショニング
3. POTT60度 食事介助・食後のポジショニング
4. 不良姿勢体験

1グループ4名+指導者1名

- ①介助者役（主）
 - ②介助者役（副）
 - ③患者役
 - ④補助者
- ☆順番に体験



ベッド上のスキル点数の平均点
研修前 8/21点→研修後15/21点

プログラム2 基礎・応用編

13:10~ POTT基本スキル（車椅子ポジショニング 食事見守り+一部介助）

デモンストレーション後、グループ演習 プロセスゼリーを食べて、姿勢による食べやすさ、食べにくさを体感♪

14:20~ 応用編 ベッド上ポジショニング+食事介助

☆不良姿勢からのポジショニング（円背・麻痺等） 模擬事例を基に、グループごとに姿勢を観察しアセスメントを行い、ポジショニングを検討、グループごとに発表♪

15:30~ 振り返り（グループ意見交換⇒全体発表し学びを共有）

出た意見のほんの一部です
・患者体験が一番の収穫 ・テキストの写真のみではわからないことを実習で体感 ・看護、介護職が患者の苦痛を増している可能性
・すき間を埋める方法はだめ⇒骨盤を安定させる ・チームでアイデアを出し合う大切さ ・背抜き的重要性

15:50~ まとめ 応用編事例のポジショニング課題では、各グループの結果が異なっており、講師より適切姿勢を紹介し学びを深めました♪



【アンケート結果】 POTT道場は参考になったかの問いに対して、全員が参考になったと回答。応用編でのアセスメントは87%が今後活用できると答え、理由として、試行錯誤の大切さを学んだ。直ぐ答えは出ないかもしれないが試行錯誤しながら取り組みたい。ポジショニングの考え方の視点が少なかったが、多くの引き出しを増やすことができた。などの意見があがった。また、POTT実践レベルの認定を40%が今後受けようと思うと答え、POTTプログラムの活用や伝承を80%がしたい、活用・伝承場所は、自分の職場や委員会、ミールラウンド時などが上がった。全体的な意見として、研修に体験を取り入れることの大切さを実感した。コロナ禍で実技を学ぶことができずにスキル不足に悩んでいたが、とても良い学びができ実践に活かしていきたい。色々な職種の方と一緒に体験し意見交換できることはとても楽しく学ぶことが多かった。などが上がった。

秋晴れの穏やかな日でしたが、POTT道場はとても刺激的な多くの学びのある研修会でした。
POTT実践者レベルの認定者が増え、食べる喜びを伝える仲間の輪が広がることを願います。